

- 問1 ある都道府県の統計において、米の産出額が約194億円であるのに対し、野菜が約643億円、果実が約298億円と農業産出額が全体的に大きく、さらに漁業産出額も約551億円という非常に高い水準にある自治体として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 静岡県 2. 山梨県 3. 大阪府 4. 新潟県
- 問2 富山県の山岳地帯には、黒部峡谷に代表される深い渓谷や火山活動による湖など、豊かな自然景観が見られます。これらの地域が指定されている国立公園の名称として正しいものを選択してください。 (2025年 東京都公立入試 類似)
1. 瀬戸内海国立公園 2. 中部山岳国立公園 3. 十和田八幡平国立公園 4. 阿蘇くじゅう国立公園
- 問3 日本の気候区分のうち、1月の最低気温が2度前後まで下がり、冬の降水量が夏の約2.6倍に達するような、冬に降水が集中する特徴を持つ気候帯はどれですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 太平洋側の気候 2. 瀬戸内の気候 3. 日本海側の気候 4. 中央高地の気候
- 問4 日本の北陸地方では、江戸時代から続く技術を継承した伝統的工芸品が多く生産されています。石川県において生産されている伝統的工芸品の組み合わせとして、正しいものはどれですか。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
1. 越前漆器・越前和紙・輪島塗 2. 輪島塗・越前和紙・九谷焼 3. 輪島塗・加賀友禅・九谷焼 4. 高岡銅器・加賀友禅・山中漆器
- 問5 石川県金沢市において、江戸時代から続く伝統的工芸品である加賀友禅の生産が、現在も受け継がれている歴史的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 岐阜県公立入試 類似)
1. 加賀藩の歴代藩主が文化振興を奨励し、優れた職人を招いて技術を保護・育成したため 2. 明治時代に官営模範工場が設置され、西洋の技術を取り入れた機械化が急速に進んだため 3. 北陸新幹線の開通に伴い、観光客向けのお土産として近年になって新たに開発されたため 4. 日本海側の湿潤な気候を利用して、原料となる綿花の栽培が江戸時代から盛んに行われていたため
- 問6 日本の気候区分のうち、周囲を高い山々に囲まれた盆地で見られる、年間を通じて降水量が少なく、夏と冬の気温の差が大きい気候を何といいますか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 太平洋側の気候 2. 瀬戸内の気候 3. 中央高地の気候 4. 日本海側の気候
- 問7 静岡県の産業構造の特徴として、第2次産業の就業者割合が他の地域に比べて高いことが挙げられる。この要因となった背景として最も適切なものはどれか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
1. 広大な土地を利用した大規模な畑作や酪農が展開されているため 2. 自動車や楽器などの製造業が発達し、東海工業地域の一角を占めているため 3. 美しい自然景観を生かした観光業が主要産業となっているため 4. リンゴなどの果樹栽培が盛んで、それに伴う食品加工業も多いため
- 問8 日本の地形の特色について述べた次の文のうち、中部地方に位置する「木曽山脈」の説明として最も適切なものを選びなさい。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
1. 東北地方の中央を南北に走る、日本で最も長い距離を持つ山脈。 2. 中国地方の中央部を東西に走り、山陰と山陽の気候を分ける山脈。 3. 飛騨山脈と赤石山脈の間に位置し、日本アルプスの一角をなす標高の高い山脈。 4. 新潟県と群馬県の県境に位置し、季節風を遮ることで日本海側に大雪をもたらす山脈。
- 問9 日本の主な工業地帯・地域における製造品出荷額の割合を示した統計において、機械工業が全体の約7割という突出した高さを示し、特に輸送用機械の製造が中心となっている工業地域はどこですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
1. 北九州工業地域 2. 阪神工業地帯 3. 瀬戸内工業地域 4. 東海工業地域
- 問10 製造品出荷額に占める工業分野別割合において、輸送用機械器具の割合が約半数を占め、全体の製造品出荷額等でも全国トップである愛知県の工業に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
1. 石油化学コンビナートが形成され、化学工業の割合が最も高くなっている。 2. 電子部品や半導体の生産が盛んで、内陸部の高速道路沿いに工場が集積している。 3. 製鉄所を中心とした鉄鋼業が発達し、臨海部に巨大な重工業地帯が広がっている。 4. 自動車工業を中心に発達し、豊田市などに大きな工場が集团的に立地している。
- 問11 中部地方は、地形や気候の特色からさらに3つの地域に細分されることがあります。愛知県や名古屋市が含まれる、太平洋に面した地域の名称として適切なものを選びなさい。 (2019年 山口県公立入試 類似)
1. 東海 2. 山陰 3. 中央高地 4. 北陸
- 問12 日本の農業産出額の構成を示した統計において、米の産出額に比べて、野菜と果実の産出額が非常に高い割合を占めている内陸の県があります。この県で行われている農業の特色として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 静岡県公立入試 類似)
1. 標高の高い地域で、夏の冷涼な気候を活かして野菜の出荷時期を遅らせる栽培が行われている 2. 都市近郊の立地を活かして、新鮮な野菜を素早く消費地へ届ける近郊農業が行われている 3. 広大な平野と豊富な水資源を活かして、単作による大規模な稲作が行われている 4. 温暖な気候を活かして、冬でも温暖な時期に野菜を早く育てる促成栽培が行われている
- 問13 日本の冬の気候において、日本海側で世界的に見ても稀なほどの降雪が見られる要因を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 赤道付近で発生した熱帯低気圧が日本海を北上し、大陸からの寒気と混ざり合うことで大雪をもたらすため。 2. 大陸からの冷たく乾燥した季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を取り込み、山脈にぶつかって上昇するため。 3. 冬に勢力を強める小笠原気団が日本列島を覆い、日本海側の湿った空気を急激に冷やすため。 4. 太平洋側から吹く温かく湿った季節風が、高い山脈を越える際に冷却されて雪を降らせるため。
- 問14 日本の茶の主産地では、4月上旬頃の気象条件に合わせて「防霜ファン」を稼働させることがあります。この設備が稼働する背景となる自然現象と、その仕組みについて説明した文として正しいものを選びなさい。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
1. 晴れた夜間に発生しやすい放射冷却によって地表付近の温度が下がるため、上空の暖かい空気を循環させて凍結を防ぐ。 2. 梅雨時期の高温多湿な環境で発生する病原菌を抑えるため、風を送り続けて茶の葉の表面を乾燥させる。 3. 夏場の強い日差しによる土壌の乾燥を防ぐため、風を送ることで地中の水分を効率よく吸い上げさせる。 4. 春先に発生しやすい濃霧が日照を妨げるため、扇風機で風を霧を散らして茶の芽の成長を促進させる。